公益社団法人 地盤工学会関東支部

JGS Kanto

Newsletter

Kanto Branch of Japanese Geotechnical Society

支部長就任あいさつ—新型コロナウィルスの先を見つめて—

支部長　菊池喜昭
東京理科大学

この度、安田進支部長の後任として、支部長に就任しました。微力ではありますが、関東支部の今後の発展のために尽力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

今年に入ってから新型コロナウィルスの感染が急に話題となり、あれよあれよという間に世界中に感染が拡大し、わが国でも 4 月 8 日には首都圏などに緊急事態宣言が発出され、その後全国に緊急事態宣言が拡がり、大変なことになっています。人々の接触の機会を減らすことが感染の収束につながるということで、接触の機会を減らすために、外出の自粛、テレワークの実施などが行われ、教育の遅れや経済の停滞が生じ、生活の不安も生じています。会員の皆様におかれましても大変窮屈な生活を強いられているのではないかと懸念いたします。いかがお過ごしでしょうか。

3 月末には東京オリンピックの延期が決定されたほか、学会活動も様々な制約を受け、支部総会、本部総会の開催方法の変更、研究発表会の中止がすでに決定されていますが、この先もさまざまな活動に影響が出てくると思います。

このような厳しい時期であり、今後もしばらくは厳しい時期が続くものと思いますが、学会として私たちができることをひとつずつ積み重ねていくことが重要であると考えています。そして、学会活動を通じて、新型ウィルスで疲弊してしまった社会の回復に向けて貢献していきたいと考えています。

緊急事態宣言以降の社会の動きや私自身の活動を振り返って見てみますと、人々がいかに他者とのつながりで生きてきていたのかと改めて感じます。今回は、インターネットのおかげで、SNS などを通じて人と人とのつながりが確保されたということを実感しています。テレワークや大学等でのオンライン授業の実現、インターネットを用いた会議などはいずれもインターネットの普及によるものですが、改

めて、誰でもインターネットを用いて様々な人のつながりができることを実感させるものであり、またその利便性に気づかされたといえると思います。

学会が学会として活動していくうえで重要な機能の一つに、研究集会での討論をはじめとする人々の交流があると思います。個々の研究は個別にするものの、その成果を広く知ってもらい、また、意見を交換することで次へのステップにつなげたり、多くの人がその成果を利用できるようになったりします。今回明らかとなったインターネットを用いた交流の可能性は大きく、今後の学会活動でも大いに活用することで活動の幅を広げることができるものと期待しています。

関東支部は設立以来 16 年が経ちました。地盤工学会 70 年の歴史の中で支部としては最も若い支部です。それまで空白地区だった関東エリアの会員の活動を活発化させる目的で設立され、歴代支部長はじめ役員、多くの会員の皆様など支部活動を支えていただいてきた方々のご尽力で、関東支部にも歴史ができ、各県グループも独自性を持ちつつ活発に活動され、関東支部の持つ風土ができてきていると感じています。その風土は、楽しく活発に活動しようということであると思います。ぜひこの伝統を受け継ぎ、さらなる活動を広げ、支部会員相互のつながりを深めることのできるような支部運営をしていきたいと思っております。関東支部は、最大の会員数を誇る支部でもあり、本部のお膝元ということもありますので、私共の関東支部の活動が他の支部ひいては学会全体の活動に大きく影響することは必然と思います。私共の活動が学会全体にいい影響を与えられるようにしていきたいと思います。現在の新型コロナウィルスによる緊急事態宣言が出されている現段階では、実際には多くの活動が制限されており、なかなか今年度の活動も開始しにくく、今後どう展開していくのかわからない状況ではありますが、今回の危機をばねにしていけるようにと考えております。

人類は危機を乗り越えるたびに大きく変化してきているようです。今回の新型ウィルスの危機を乗り越えることで、社会が大きく変化し始めるものと思います。そのような中での学会活動となりますので、従前の伝統は守りつつも、新たな社会の要求にこたえられるような新規の活動にも取り組みたいと考えております。

学会活動を前にもまして活発化させていくためには、支部会員の皆様からのご意見とご協力が不可欠です。皆様からの忌憚のないご意見と積極的なご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

第17回関東支部発表会（GeoKanto2020）の開催報告

関東支部　支部発表会グループ
リーダー幹事・小峯秀雄（早稲田大学）

第17回関東支部発表会（GeoKanto2020）が、令和2年11月27日（金）に開催されました。今年度は、コロナの関係で例年とは状況が大きく異なる中、少しでも多くの方に「口頭発表の場を提供すること」を最優先し準備を進めました。従来申込時に提出する概要（2～4頁）を取りやめ、400字程度の要旨のみに変更したほか、Zoomによるオンライン発表という形での開催となりました。JGS会館に6つの会場を設け、一般発表144編と研究委員会の活動報告が行われました。聴講者を含めた約280名の方にご参加頂き、例年通りの優れた発表と活発な議論となりました。また、関東支部所属の8つの研究委員会から発表会HP上での活動報告があったほか、「土構造物の要求性能の実現を目指した盛土締固め管理の合理化に関する研究委員会」からは、盛土の合理的な締固め管理方法に関する検討内容の報告や話題提供があり、活発なディスカッションが行われました。

一昨年度から始めたスポンサー企業様の技術紹介の場を本年度も設けました。午前と午後の一般発表セッションにおいて、一般発表に先立って行われた技術紹介では、例年以上に熱心な技術の紹介をして頂きました。技術紹介をはじめとするスポンサー応募には延べ25件の申し込みがあり、発表会の運営に多大なご協力を頂くことができました。スポンサーに応募して頂いた企業様・団体様には、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

また、今年度は、2件の特別セッションが実施され、中込関東支部副支部長からのご推薦で、「河川堤防技術に関する最近の話題」と題して、国土交通省水管理・国土保全局の甲斐公久様を講師にお招きして、河川堤防に関する技術的な課題と今後の方向性について講演して頂きました。会員サービスグループ・ジオテク語り部会との共催で、「昭和・平成を駆け抜けたベテランが令和に語り継ぐ」と題して、中央大学太田秀樹先生を講師にお招きして、これまでの研究に関するお話から現在取り組まれている研究まで、貴重なお話を講演して頂きました。

最後になりますが、発表会の準備・実施にあたり、菊池支部長をはじめとする多くの関東支部の方々にご指導とご支援を頂きました。特に支部発表会グループの皆様には献身的な働きをして頂きました。ここに感謝の意を表したいと思います。

GeoKanto2021は10月22日（金）に国立オリンピック記念青少年総合センターでの開催を予定しております。会員の皆様の積極的なご参加と企業・団体の方々のスポンサーへのご応募をお待ちしております。

＊GeoKanto2021は、昨年に引き続きZoomミーティングによる、パワーポイント等でのオンライン発表の開催に変更となりました。

表 1　関東支部発表会の開催概要

回数	年度	開催場所	参加者数	論文数
第 1 回	2004	東京都文京区（JGS 会館）	53	26
第 2 回	2005	茨城県水戸市（茨城大学）	86	52
第 3 回	2006	神奈川県横浜市（関東学院大学）	205	111
第 4 回	2007	群馬県前橋市（県市町村会館）	187	126
第 5 回	2008	千葉県船橋市（日本大学）	174	117
第 6 回	2009	栃木県宇都宮市（県総合文化センター）	232	147
第 7 回	2010	埼玉県さいたま市（大宮ソニックビル）	194	131
第 8 回	2011	山梨県甲府市（ぴゅあ総合）	184	132
第 9 回	2012	東京都江東区（日本科学未来館）	402	197
第 10 回	2013	東京都江東区（日本科学未来館, 東京国際交流館）	約 310	186
第 11 回	2014	東京都江東区（日本科学未来館, 東京国際交流館）	約 300	170
第 12 回	2015	東京都江東区（日本科学未来館）	約 300	163
第 13 回	2016	東京都江東区（日本科学未来館）	約 300	142
第 14 回	2017	栃木県宇都宮市（栃木県総合文化センター）	329	145
第 15 回	2018	東京都渋谷区（国立オリンピック記念青少年総合センター）	約 230	125
第 16 回	2019	東京都渋谷区（国立オリンピック記念青少年総合センター）	約 204	103
第 17 回	2020	Zoom によるオンライン発表	約 280	144

表 2　実行委員会委員

副支部長兼ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ	小峯秀雄（早稲田大学）		
学術部会	ﾘｰﾀﾞｰ：野々山栄人（防衛大学校）	冨安祐貴（大林組）	日下部真佑（不動ﾃﾄﾗ）
	大坪正英（東大）	栗原朋之（中央開発）	重村智（日大）
総務部会	ﾘｰﾀﾞｰ：美野輪皇士（小野田ｹﾐｺ）	野田翔兵（理科大）	山地伸弥（鹿島建設）
	栗本悠平（清水建設）	中島徳仁（ｱｻﾉ大成基礎 ENG）	陳金賢（応用地質）
	鎌尾彰司（日本大学）	青木美智子（地盤工学会）	
県連絡委員	松島亘志（筑波大）	後藤聡（山梨大）	早野公敏（横浜国大）
	清木隆文（宇都宮大）	斎藤健志（埼玉大）	山中光一（日本大）
	蔡 飛（群馬大）		

第 17 回　地盤工学会関東支部発表会　優秀発表者賞

セッション名	発表者（所属） 受賞コメント	論文題目
防災 1	中瀬千遥 （中央開発（株））	「令和 2 年 7 月豪雨において熊本県芦北地区で発生した斜面崩壊についての考察」

この度は第 17 回地盤工学会関東支部発表会において、優秀発表者にご選出いただき、誠にありがとうございます。この度は令和 2 年 7 月豪雨において発生した斜面災害の調査結果について報告させていただきました。今回頂いた賞を励みとし、防災につながるよう、今後も調査を進めていきたいと思います。最後になりましたが、発表にあたりアドバイスをいただきました皆様、調査関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

防災 2	藤原夏菜香（岩手県立一関第一高等学校）	「荒砥沢地滑り現場から採取した土の一面せん断特性」

この度は第 17 回地盤工学会関東支部研究発表会におきまして優秀発表者にご選出頂き、大変光栄に存じます。本研究では、2008 年岩手・宮城内陸地震を起因として発生した荒砥沢地すべりについて、一面

せん断試験を行いました。
ご指導いただいた桑野玲子先生をはじめ、研究室の皆様、支援いただいた東京大学 UTokyoGSC（JST グローバルサイエンスキャンパス）関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

防災 3	志賀正崇 （東京大学）	「セメンテーション効果を有する砂試料の圧密・液状化特性に関する研究」

この度は GeoKanto2020 において優秀発表者賞に選出していただき、大変光栄に存じます。本発表ではセメンテーションとかみ合わせ効果の両方が圧密・液状化特性に及ぼす影響について僭越ながら紹介させていただきました。本賞を契機により一層学究の道を進むことを誓うと共に、指導教員の清田隆先生を始め、研究に関わっていただいた全ての皆様に心から厚く御礼申し上げます。

防災 4	伏木良太 （早稲田大学）	「検査データを活用した地下鉄トンネル変状の定量的評価」

この度は優秀発表者にご選出いただき、誠にありがとうございます。本発表では、検査データを活用した地下鉄トンネル変状の定量的な評価方法及びその妥当性について報告させていただきました。今後の研究では、今回の結果を地下鉄トンネルの維持補修計画の検討に活用していきたいと考えております。
最後に、本研究を発表するにあたり、ご指導を賜りました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

防災 5	佐倉拓歩 （中央大学）	「蛇籠型受圧体による埋設管屈曲部の地震時水平変位の抑制」

この度は第 17 回地盤工学会関東支部発表会におきまして優秀発表者賞にご選出いただき、誠に光栄に思います。
本研究では、蛇籠型受圧体による埋設管屈曲部の地震時水平変位の抑制について検討を行いました。今回、賞をいただいたことを糧にして今後も精進して参ります。末筆になりますが、本研究を行うにあたりご指導いただきました平川先生をはじめとする関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

防災 6	田口　拳 （東京大学大学院）	「地下流水音測定による水みち探査の可能性」

この度は第 17 回地盤工学会関東支部発表会におきまして、優秀発表者にご選出いただき誠にありがとうございます。本研究は、地下流水音測定装置を用いて、地盤陥没の原因となりうる地下の水みち推定を試みたものです。今回の受賞ならびに発表の場で頂戴した貴重な意見を励みに今後も研究に勤しんでいきたいと考えております。
本研究を発表するにあたり、指導教員である桑野玲子教授をはじめ、研究室、関係者の皆様にこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

材料 1	ディヤースリウタミ （東海大学大学院）	「Residual Strength of Diatomaceous Soft Rock」

この度は第 17 回地盤工学会関東支部発表会におきまして優秀発表者にご選出いただき、大変光栄に存じます。本研究では、珪藻質軟岩の残留強度が支持力に与える影響について検討を行いました。今回の発表の場で頂戴した貴重な意見を励みに、さらに研究に取り組んで参ります。最後に、指導教員である杉山太宏教授、共著者の赤石 勝先生をはじめとする関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

材料 2	折田清隆 （東京海洋大学）	「揚鉱に用いるキャリア物質（粒状体を含む粘性流動体）で満たした鉛直管中で行う球の沈降実験における沈降開始位置の影響」

この度は優秀発表者にご選出いただき、ありがとうございます。非常に光栄に思います。
本研究は海底鉱物資源を効率的に揚鉱する技術の開発の一環で行われたものです。今後もこの成果を基に海底鉱物資源の商業的開発の実現を目指して関連分野の研究に邁進する所存です。
最後に、本研究に関してご指導を賜った谷和夫教授及び、㈱不動テトラの鈴木亮彦氏と古庄哲士氏に心から感謝申し上げます。

材料 3	佐藤　樹 （東京大学）	「人工軽石を用いた超高間隙構造土の不飽和せん断特性」

この度は優秀発表者賞にご選出いただき，光栄に思います。
本研究は斜面災害の原因となる火山性土の力学特性に関して，人工土を用いて取り組んだものです。
今後は火山性土を実際に用いた試験や、不飽和での更なる試験を行い，研究を進めていきたいです。
末筆になりますが，本研究を立ち上げからご指導いただいた桑野玲子先生をはじめ，実験の実施 に際

してご協力をいただいた研究室の方々に心より御礼申し上げます。

材料 4	Junming LIU （東京大学）	「Anisotropy in Small-Strain Stiffness of Granular Materials: Effects of Particle Properties」

I am honored to be one of the recipients of the ‘優秀発表者賞’ from GeoKanto 2020. I would like to thank JGS and all the organizers of GeoKanto 2020 for hosting such unforgettable event. It was a great opportunity for young researchers like me to present our academic achievements and to receive comments from experienced scholars and engineers, which broadened my horizons and encouraged me to continue doing my best work. Finally, I hope GeoKanto will become more and more successful in the future.

材料 5	高田明旺 （東京理科大学大学院）	「養生圧力の変化が製鋼スラグ混合粘性土の一軸圧縮強さに及ぼす影響」

この度は第 17 回地盤工学会関東支部発表会におきまして優秀発表者にご選出いただきありがとうございます。本発表では、養生圧力の変化が転炉系製鋼スラグと粘性土の混合土の一軸圧縮強さに与える影響について報告させていただきました。本研究を発表するにあたり、指導教員である菊池喜昭教授をはじめ関係者の皆様には数々のご指導、ご鞭撻を賜りましたこと、ここに厚く御礼申し上げます。

構造 1	益子時佳 （東京都市大学）	「圧力条件の違いがセグメント模型の M-N 挙動に与える影響」

この度はこのような名誉ある賞にご選出いただきまして、誠にありがとうございます。本発表では、セグメント模型に荷重を加えることによって、各セグメントの挙動や M-N 破壊包絡線を基準としたコンクリート部分の損傷の有無を確認し、セグメントへの影響についての評価を報告させていただきました。最後に、ご指導いただきました労働安全衛生総合研究所の吉川様をはじめ、研究室、関係者の皆様からのご指導ご鞭撻を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

構造 2	福本一真 （防衛大学校）	「柱状改良－ジオグリッド補強併用技術に関する実験的検討」

この度は第 17 回地盤工学会関東支部発表会におきまして優秀発表者にご選出いただき誠にありがとうございます．発表では，新しい実験技術である透明土を用いて，柱状改良－ジオグリッド併用基礎の支持力特性の解明に向けて研究している内容を報告させていただきました.本研究を発表するにあたり，指導教員である宮田喜壽教授をはじめとする研究室の方々には貴重なご意見やご助言を賜りました．心より感謝申し上げます.

構造 3	小田切瑞生 （清水建設(株)）	「動的遠心模型実験による拡底杭の群杭効果の検討」

この度は優秀発表者賞にご選出いただきありがとうございます。拡底杭の地震時の群杭効果について発表させていただき、今後の研究につながるような質疑をいただくことができました。また、他の発表者の皆様の興味深い研究を聴講ですることもでき、大変有意義な発表会となりました。今年度は例年と異なりオンラインで発表会でしたが、このような状況でも発表会が開催できたのは、主催された委員の皆様のご尽力があってこそだと存じます。末筆ながら感謝申し上げます。

構造 4	平井卓海 ((株)東京ソイルリサーチ)	「遠心模型実験および画像解析による拡底杭の引抜き抵抗メカニズムに関する基礎研究」

この度は優秀発表者賞にご選出頂きありがとうございます。拡底杭の引抜き抵抗メカニズムを解明するため，遠心場における模型観察実験を実施し，PIV 解析による地盤の変形状況を図化した研究について発表致しました。発表に際し，セッション会場の座長，参加者，他の発表者の方々から貴重なご質問やご意見を頂きましたことを感謝致します。また，関係者の皆様には数々のご指導，ご鞭撻を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

環境 1	山田七星 （早稲田大学）	「メスシリンダー法によるベントナイト系材料の水分拡散特性評価に向けた排気条件，水質および交換性陽イオンの影響に関する考察」

この度は第 17 回地盤工学会関東支部発表会にて優秀発表者賞を賜り，ありがとうございます。本研究では，ベントナイトに対する地下水水質の影響について，メスシリンダー法を用いて検討した結果を報告させていただきました。

最後になりますが，関係者の皆様からご指導ご鞭撻賜りましたこと，厚く御礼申し上げます。

環境２	松岡宏樹 （東京理科大学大学院）	「傾斜荷重を受ける粘性土地盤上の平板の支持力」

この度は第 17 回地盤工学会関東支部発表会におきまして優秀発表者賞にご選出いただき誠にありがとうございます。本発表では，傾斜荷重を受ける粘性土地盤上の平板の支持力について報告させていただきました。本研究を発表するにあたり，指導教員である菊池喜昭教授をはじめ関係者の皆様には数々のご指導，ご鞭撻を賜りましたこと，ここに厚く御礼申し上げます。

高校生初の発表会参加の藤原夏菜香さん（岩手県立一関第一高等学校）からの感想をいただきました！

専門知識がほぼない状態で研究を始めたので、わからないことばかりでしたが、東京大学桑野研究室のみなさんに教えて頂き、楽しく研究に取り組めました。また、初めての学会発表で緊張しましたが、斜面災害について多くの研究発表を聴くことができ、大変勉強になりました。この経験を糧に、今後も研究活動を続けていきたいです。

～昭和・平成を駆け抜けたベテランが令和に語り継ぐ～
「ジオテク語りべ会」　開催報告

関東支部　会員サービスグループ
幹事　　山口　恵美
幹事　　小林　優起
学生幹事　　小林　綾乃

2020 年 11 月 27 日に、GeoKanto2020 の特別セッションとして、～昭和・平成を駆け抜けたベテランが令和に語り継ぐ～「ジオテク語りべ会」が開催されました。この企画は、会員交流の一環として催したもので、今回が第 2 回目です。今回は講師に太田秀樹先生をお迎えして、今までの研究活動やご自身の現在の生活についてご講演いただきました。新型コロナウイルス感染防止のため、Zoom ウェビナーによるオンライン形式での実施となりましたが、当日は約 100 名の方にご参加いただきました。

はじめに、神戸大学の飯塚先生から写真を交えて太田先生のご紹介をしていただきましたが、写真には晴れを願って太田先生がてるてる坊主を作っている姿や、学生の発表を熱心に聞いている姿、スキーの様子など、太田先生のお人柄が非常に良く分かるご紹介をしていただきました。太田先生の講演では、これまでの研究生活はもちろん、現在進行中の研究やこちらからリクエストした現在の生活について、今も現役でプレーしているフィールドホッケーのお話しなど、この語りべ会 1 回では物足りないくらい盛りだくさんの内容を話していただきました。そして講演の最後には、日本の自然災害に対する備えの不十分さなどを危惧しているとお話しをされ、都市集中から地方分散への移行のテーマソングとして John Denver の Take me home, country road を示されました。

オンライン形式では視聴者の皆様の反応が太田先生に伝わりにくいことを懸念しておりましたが、講演中は多くの方が顔を見せてくださり、太田先生も皆さんの表情を見ながらお話しすることができましたので、対面ではないながらも楽しい会になったと感じております。

このジオテク語りべ会は、シリーズとして今後も開催予定です。多くの皆様にご参加いただき、世代を超えた会員同士の交流の場となることを願い、これからも企画していきたいと思います。

写真-1　太田先生ご講演の様子

写真-2　会場の様子

2021年度地盤工学会関東支部賞候補募集要項

公益社団法人　地盤工学会関東支部

地盤工学会関東支部では、「地盤工学会関東支部技術賞」「地盤工学会関東支部功績賞」および「関東支部発表会優秀発表賞」の３つの賞を設け表彰する事により、その業績を讃え、合わせて関東支部活動の活性化を目指しております。このうち、「地盤工学会関東支部技術賞」と「地盤工学会関東支部功績賞」の候補者の募集を行います。これらの賞は、支部会員の地盤工学的観点から優れた工事の業績、技術の開発と実用化、創造性等に優れた学術成果、地盤工学関係技術者の育成や技術力向上、学会のPRなどへの業績や社会的地位向上に貢献を行った活動に対し表彰し、その成果を讃えるものです。以下の募集要項に基づき、奮ってご応募頂きますようお願い申し上げます。なお、「関東支部発表会優秀発表賞」については、関東支部発表会実行委員会の規程に基づき、別途表彰を行います。

受 賞 対 象：関東地域に関係する次のいずれかに該当する業績を対象として、個人（複数可）または団体に授与する。

但し、関東支部あるいは地盤工学会の他支部において表彰を受けた業績については応募することはできない。

関東支部賞の 2 つ以上の分野に同時に同じ（もしくは同等と判断される）業績で応募することはできない。

地盤工学会関東支部技術賞：

①地盤工学的観点から優れた工事の計画，調査，設計，施工，計測および維持管理等に関する業績等

②活用性，汎用性に優れた技術の開発および実用化等

③創造性，特殊性を有する学術的に優れた研究論文および研究報告等

地盤工学会関東支部功績賞：

①地盤工学関係技術者の育成および技術力向上に顕著な貢献をしたと認められる業績等

②地盤工学の PR および社会的地位向上に貢献をしたと認められる業績等

③地盤工学会会員として関東支部の活動に永年従事し，顕著な貢献をしたと認められる業績等

対象者資格：受賞対象者の資格は，特に設けない．ただし，地盤工学会関東支部功績賞の③については，支部会員（正会員，学生会員，特別会員），および支部会員を代表とする機関あるいはグループとする。ここで，支部会員を代表とする機関とは支部会員が代表を務める機関とする。また，特別会員は特別会員である機関の下部機関についても応募対象者とする。なお，特別会員に属する非会員の個人を代表とするグループについては応募対象者としない。さらに，ここでの会員とは応募時点において会員であり，かつ推薦締切日において引き続き会員であるものとする。

応募の形式：推薦とします．自薦・他薦を問いませんが，推薦者は関東支部の正会員（関東支部表彰委員を除く），または特別会員であること。ただし，関東支部が主催する委員会活動および行事などは応募の対象外です。

審　　査：地盤工学会関東支部の表彰委員会により審査を実施し，受賞者を決定します。必要に応じてヒアリングを実施いたします。

発　　表：受賞決定の場合には，直接該当者に通知します。

表　　彰：2022 年 4 月の関東支部通常総会において行い，受賞者には賞状・副賞を贈ります。

推 薦 受 付：2021 年 9 月 10 日（金）より 2021 年 11 月 24 日（水）まで。郵送の場合、当日消印のあるものを有効とします。

提　出　先：封筒の表に、「地盤工学会関東支部賞○○○○○賞候補推薦」と記入のうえ、下記へ直接持参するか、あるいは書留で郵送してください。

〒112-0011 東京都文京区千石 4-38-2JGS 会館内
公益社団法人　地盤工学会関東支部
電話　03-3946-8670　　FAX　03-3946-8699

※ 推薦書は地盤工学会関東支部の website よりダウンロードください。
https://jibankantou.jp/event/2021kantouaward.html

（提出資料）

1.推薦書 …… 1 部

2.業績を示す資料（該当する業績ごとに以下に示す資料） ……10 部

地盤工学会関東支部技術賞①，②：該当業績を記した論文または業績の内容が分かる説明資料やパンフレット

地盤工学会関東支部技術賞③：当該研究論文もしくは研究報告，1 編

地盤工学会関東支部功績賞①，②：業績リスト（出典明示）と代表的資料のコピー3 編

地盤工学会関東支部功績賞③：地盤工学会における活動履歴と業績リスト（出典明示）

【行事報告】

日　程	行事名称	場　所
2020.12.05	共催行事 ”彩の国”市民科学フォーラム「令和元年東日本台風か 1 年 行政と住民、それぞれの危機管理の方向性 」	ウェスタ川越 多目的ホール
2021.04.23	特別講演会「福島第一原子力発電所の廃止措置に貢献する地盤工学～廃炉地盤工学の創生～」	オンライン
2021.05.19 2021.06.02	共催行事 技術者講座「災害で気づき・学び・活かす」	オンサイトとオンライン
2021.07.03	後援行事：(一社)地域国土強靭化研究所「創設一周年記念フォーラム」	会場とオンラインの併用
2021.08.19 2021.08.25 2021.08.31	会員サービスグループ：東日本大震災 10 周年企画「～語り継ぐ 地盤技術者たちの記憶～」	オンライン
2021.09.15	後援行事：2021 環境防災セミナー（環境・防災・コロナ禍・AI ）	オンライン
2021.10.18	栃木県グループ：思川開発事業南摩ダム建設工事の見学会	栃木県
2021.10.22	**第 18 回地盤工学会関東支部発表会（GeoKanto2021）**	**オンライン**
2021.10.22	**～昭和・平成を駆け抜けたベテランが令和に語り継ぐ～「ジオテク語りべ会」**	**オンライン**
2021.10.23	共催行事：神奈川県グループ「逗子市新宿自治会防災デー2021」	会場とオンラインの併用

ゴシックの行事報告を本号でご紹介しています。また、これまでの行事報告については関東支部のホームページでご覧下さい。

【行事予定】

日　時	行事名称	場　所
2021.12.11	後援行事：令和 3 年度“彩の国”市民科学オープンフォーラム「災害につよいまちづくり」	埼玉大学全学講義棟とオンラインの併用

行事予定の最新情報については関東支部のホームページでご確認ください。

関東支部では、メーリングリストにご登録頂いた会員の皆様に行事案内を随時お知らせしております。登録をご希望の方はお名前、会員番号、メールアドレスを明記の上、E-mail：kantouevent@jiban.or.jp または FAX ： 03-3946-8699 までお申し込み下さい。

（榎本 佑矢：企画総務グループ 幹事）

発行　公益社団法人　地盤工学会関東支部
〒112-0011 東京都文京区千石 4 丁目 38 番 2 号　JGS 会館内　TEL 03-3946-8670　FAX 03-3946-8699
https://jibankantou.jp/